

第1号議案 令和元年度事業報告書・計算書類及びその附属明細書
並びに財産目録の承認について
事業報告書

(第52回)

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

1. 事業概要

(1) 青果物を取り巻く環境について

生産面では、農業従事者の高齢化・担い手不足などにより、国内の野菜・果実の作付面積および生産量は、長期的な減少傾向が継続している。一方、農家の大規模化による法人化の進展に伴い、農地の集積が進んでいる。

また、近年では、小売、外食等の青果関連業界に加え、化学、ガス、鉄道など多くの企業が農業に参入し、野菜への参入が最も多い状況となっている。

消費面では、世帯構成・ライフスタイルの変化により、食の外部化（中食・外食）が進み、また、手ごろな価格、調理の簡便化を求め、サラダ・カット野菜の消費が増加傾向にある。加工・業務用野菜の原料は輸入品が多くを占めているが、国産化への取り組みが行われている。

令和元年の野菜の輸入量は、貿易統計によると、平成30年まで3年連続で増加していたが、生鮮野菜が前年より16%ほど減少した反面、冷凍野菜は5年連続で増加しており、全体では前年より5%ほど減少して278万トンであった。

流通面では、小売販売額が頭打ちの中、コンビニエンスストアや、ネット通販などの利用の増加傾向が続いている。また、農産物直売所については約1兆円規模の販売額とされており、6次産業関連事業のおよそ半分を占めている。うちJAグループと生産者グループで全体の約6割を占めている。

卸売市場については、取扱数量・金額は長期的に減少傾向にあり、合併や廃業などにより卸売・仲卸業者数も減少している（中央卸売市場：H20年度79→H30年度64、中央卸売業者：H20年度224→H30年度159、地方卸売市場：H20年度1,207→H29年度1,037、地方卸売業者：H20年度1,416→H29年度1,231、中央市場仲卸業者：H20年度4,395→H29年度3,071）。また、物流における深刻なドライバー不足もあいまって、都市部の大手卸売市場への出荷が集中する傾向にある。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大により、外食産業の低迷による業務用需要の減少など農畜産業も大きな影響を受けており、今後の予断を許さない状況の継続や、生活様式の変化などが想定される中、労働力の確保も含め、農業生産現場や流通においても憂慮すべき状況となっている。

(2) 青果物の生産販売状況について

- ・ 4月～6月：適度な降雨と天候に恵まれ生育が順調だったことなどから、野菜の価格は平年に比べて低水準で推移した。
- ・ 7月～9月：引き続き出荷数量が安定し低価格が継続した。
- ・ 10月～12月：夏場の低温や日照不足、台風や集中豪雨などが全国各地で頻発した自然災害の影響

響などにより品薄ぎみとなり、価格は堅調な展開となった。

宮城県においても、台風 19 号などが、農作物、家畜、農畜産業関連施設にも深刻な影響を及ぼし、県内全域の農業関係被害額は、639 億円(令和 2 年 3 月 27 日 現在)と甚大な被害となったが、各産地が懸命に苗の植え替えや蒔き直しなどの対策を講じた。

- ・1月～3月：台風被害対策の効果や暖冬の影響により、全国的に例年より生育・出荷時期が早まり安値の展開となった。

新型コロナウイルスの野菜価格への影響は、令和元年度においては、市場及び市場外流通共にほとんどない状況である。

令和元年度的全農宮城県本部の園芸品目取扱いについては、数量で 32,403 トン(前年比 96%)、金額で 12,665 百万円(前年比 93%)の販売実績となっている。また、令和 2 年産(令和元年 10 月～令和 2 年 3 月末)「仙台いちご」については、数量で 1,779 トン(前年比 96%、震災前対比 75%)、販売額では 2,425,894 千円(前年比 98%)と前年をやや下回る実績となった。

(3) 補給金の交付状況について

本協会は、青果物流通の安定による国民生活の安定化及び生産農家の経営安定と再生産の確保を図るため、販売価格が著しく低迷した品目について「一般青果物価格補償事業」で 16 品目、「特定野菜等供給産地育成価格差補給事業」については 1 品目、「指定野菜価格安定対策事業」は 4 品目を対象に補給金の交付を行った。

「一般青果物価格補償事業」による補給金交付額は、出荷数量が安定した上期で、「たまねぎ」「トマト」「えのきたけ」を中心に前年を 680 万円ほど上回った。特に「たまねぎ」は、全農宮城県本部の販売数量が年間で前年を 50%ほど上回っている。

下期は、H30 年度 11 月と 12 月に、数量増に伴う安値により「キャベツ」や「えのきたけ」の交付額が多かったが、「キャベツ」の予約数量減や「えのきたけ」の交付が上期に増えたことなどにより前年を 1,000 万円ほど下回った。

2. 補償の実績

(1) 一般青果物価格補償事業 …… 表 1

野菜については、「たまねぎ」「トマト」「えのきたけ」「こねぎ」「こまつな」等で交付を行った。また、果実については、平均販売価格が補償基準価格を上回り交付が無かった。

年間交付額は、23,319,898 円(前年比 88.0%)で、交付予約数量 9,902.3 トン(前年比 90.6%)に対し交付対象数量 1,845.2 トン(前年比 96.1%)の実績となり、「たまねぎ」「トマト」「えのきたけ」の上位 3 品目で交付額の約 60%を占めた。

(2) 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業 …… 表 2

「しゅんぎく」と「ほうれんそう」で、交付予約数量 107 トンに対し交付対象数量が「しゅんぎく」で 3.8 トンの実績となり 77,797 円の交付を行った。

(3) 指定野菜価格安定対策事業 …… 表 3

交付予約数量 5,099 トンに対し「夏秋トマト」「夏秋なす」「夏秋キャベツ」「秋冬ねぎ」で、交付対象数量が 515 トンの実績となり 2,025,000 円の交付を行った。

表1 一般青果物価格補償事業

対象月	補給金額 (円)		前年比 (%)	対象品目	品目数	交付年月日
	H30年度	R元年度				
4月	2,667,178	4,305,135	161.4	トマト、ブロッコリー、ねぎ	3	R1. 6.21
5月	0	1,240,184		トマト、こまつな、ちんげんさい、ゆきな	4	R1. 7.19
6月	584,240	603,508	103.3	たまねぎ、だいこん、みず菜	3	R1. 8.21
7月	3,404,896	4,613,576	135.5	たまねぎ、こねぎ	2	R1. 9.18
8月	1,375,296	2,021,240	147.0	たまねぎ、トマト	2	R1.10.21
9月	0	2,034,562		たまねぎ、えのきだけ、だいこん、ズッキーニ、かぼちゃ	5	R1.11.21
10月	9,000	848,976	9433.1	えのきだけ、ブロッコリー、ズッキーニ	3	R1.12.20
11月	5,807,285	830,912	14.3	えのきだけ、キャベツ	2	R2. 1.21
12月	6,222,634	462,410	7.4	キャベツ	1	R2. 2.21
1月	1,165,016	433,298	37.2	トマト、ねぎ、はくさい	3	R2. 3.19
2月	790,074	2,345,497	296.9	えのきたけ、こまつな、ちんげんさい、ゆきな、にら	5	R2. 4.21
3月	4,462,058	3,580,600	80.2	えのきたけ、こねぎ、こまつな、ちんげんさい、みず菜 ゆきな、つぼみな	7	R2. 5.21
合計	26,487,677	23,319,898	88.0			

表2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

対象品目	対象出荷期間	補給金額 (円)		前年比 (%)	交付年月日
		H30年度	R元年度		
ほうれんそう (東北)	R1年 10月 1日～ 12月 31日	0	0	—	—
ほうれんそう (東北)	R2年 1月 1日～ 3月 31日	6,245	0	—	—
しゅんぎく (東北)	R2年 1月 1日～ 3月 31日	57,795	77,797	134.6	R2. 5.21
しゅんぎく (関東)	R2年 1月 1日～ 3月 31日	245,503	0	—	—
合計		309,543	77,797	25.1	

表3 指定野菜価格安定対策事業

業務区分				補給金交付額
対象品目	対 象 出荷期間 月 ～ 月	対象 市場	産地 区分	
冬春きゅうり	5 ～ 6	東北	I	0
		東北	III	0
		関東	I	0
春キャベツ	5/16 ～ 6	東北	I	0
		関東	I	0
ほうれんそう	4 ～ 6	東北	I	0
夏秋きゅうり	7 ～ 9	東北	I	0
		関東	I	0
夏秋トマト	7 ～ 9	東北	I	949,000
夏秋トマト	10 ～ 11	東北	I	0
夏秋キャベツ	7 ～ 10	東北	I	105,000
		関東	I	36,000
夏秋なす	7 ～ 9	東北	I	0
夏秋なす	10 ～ 11	東北	I	137,000
ほうれんそう	7 ～ 9	東北	I	0
秋冬ねぎ	10 ～ 12	東北	I	0
秋冬ねぎ	1 ～ 3	東北	I	798,000
ほうれんそう	10 ～ 12	東北	I	0
ほうれんそう	1 ～ 3	東北	I	0
冬春きゅうり	3 ～ 4	東北	I	0
事業計		東北		1,989,000
		関東		36,000
		計		2,025,000